

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	6	学校名	茨城県立多賀高等学校						課程	全日制			学科	普通科		
校長名	秋本 光徳				教頭名	鈴木 好美				事務(室)長名	益子 真治					
教職員数	教諭	43	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	61
生徒数	1 年		2 年		3 年		合 計			学級数	1 年	6	合計	19		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計		2 年	6				
	119	121	103	136	173	103	395	360	755		3 年	7				

2 目指す学校像

(1) 校訓「最善を尽くして颯爽たれ」及び校是「師弟同行・文武不岐」の精神に則り、「知・徳・体」の調和のとれたたくましい「人間力」を育む学校
(2) 授業を中心に、生徒一人一人の可能性の開発に努め、進路希望の着実な実現をサポートする学校
(3) 特別活動を中心に、社会の形成に有為な人材となるための能力を培うことにより、地域や保護者から信頼される学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

※部活動は全23部のうち県大会等があるのは21部

項 目	現状分析		課 題
	取組の実績	成 果	
学習指導	○授業時間の確保 ～シラバスに基づく授業展開、授業交換100%等 ○授業の創意工夫 ～互見授業の実施、授業研究の充実等	○約8割が授業に真剣に臨み、内容を理解	○家庭学習が不足傾向
進路指導	○SHRを利用した小テストの実施(漢字、英単語) ○生徒面談の充実(5回程度実施) ○模擬面接、検定試験の充実 ○大学見学・職場体験等ガイダンスの充実	○希望進路実現率90%超 ・四年制大学進学率50%前後 ・国公立大合格者5名前後 ○数学検定・英語検定合格者の増	○国公立大合格者が微減傾向
生徒指導	○粘り強い容儀指導、挨拶指導の実施 ～集会時、登下校時、PTA合同等	○80%超が規則を遵守し、落ち着いて生活 ○地域・保護者からの評価も向上	○規範意識が受動的な傾向
特別活動	○1年前期全員部加入制 ○文武不岐講演会、颯爽セミナー等による意欲喚起 ○クラスマッチの2日間実施	○1年後期以降部加入率90%超 ○23部中21部が県以上の出場・入選〔H28〕 ○HRへの帰属意識が向上	○1年後期以降退部者が微増傾向 ○委員会活動が受動的な傾向

4 中期的目標

(1) 普段の授業を大切にし、生徒の特性に応じた授業を工夫することとおして、自ら学ぶ力とともに基礎から応用までの学力を養成する。
(2) 生徒の進路希望を踏まえた教育課程を編成し、教科指導や面接指導を充実させて、進路目標の達成に貢献する。
(3) 家庭との連携の下、授業・特別活動等の各場面において、生徒理解に根差した心の教育を推進し、規範意識・人権意識を醸成する。
(4) 特別活動などにおける自治的活動をとおり、望ましい人間関係を構築する能力や社会づくりに貢献できる市民性を涵養する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 授業を中心とした学習指導の充実	①授業交換の完全実施等により授業時間を確保し、シラバスに基づく進行管理と授業規律を確立する。
	②授業の創意工夫により、「わかる授業」を展開し、併せて応用力を育成する。
	③家庭学習時間調査を踏まえ、課題設定の工夫等により、一定程度の家庭学習を定着させる。
(2) 大学進学にも対応する 進路指導の充実	④大学への適性を見極めと可能性の開発に努め、課外等の充実により、国公立大学等への進学を促進する。
	⑤一人一人の希望進路に応じた進路指導、特に、面接指導を充実させる。
(3) 自律心の育成、 カウンセリング体制の整備	⑥挨拶の励行等により、内発的な規範意識の醸成に努め、問題行動を未然に防止する。
	⑦保護者との密な連携やスクールカウンセラーの活用等により、生徒の心理的課題に早期に対応する。
(4) 特別活動の充実・強化	⑧部活動加入を促進し、スポーツ・文化・芸術を楽しむ愛する心や物事をやり抜く力、成就感等を育成する。
	⑨学校行事に対する参加意欲の向上に努め、ホームルーム・学年の連帯感や母校愛を醸成する。
	⑩ホームルームや委員会等、生徒が企画立案し実行する取組をとおり、役割意識や責任感を育成する。